

## 平成18年仕事納め式訓示

平成18年12月29日

みなさん、平成18年の仕事納めを迎えました。

一年間、本当にご苦労様でございました。

心から御礼を申し上げたいと思います。

今年もいろいろな出来事がありましたが、今年を漢字一文字で表すと「命」という字だそうでございます。

悠仁（ひさひと）親王のご誕生に日本中が祝福ムードに包まれた一方で、いじめによるこどもの自殺、虐待、飲酒運転による死亡事故などなど、痛ましい事故が多発しました。

そんな中、北朝鮮の核実験、国内では医療問題が続発。まさに「命に笑い、命に泣き、命に不安を覚えた年」であったというのが多くの人感想でございます。ひとつしかない命の重さ、命の大切さを痛感した一年だったと思っています。

こうした中で、今年六月、一緒に仕事をしてきた若い職員を失ってしまったということがございました。彼の将来そして家族に悲しい思いをさせてしまったこと。それぞれが、このことを自分のこととして私達は決して忘れてはならないと

思います。

今あらためて、今年を振り返ってみますと、前半は、議会との市町村合併問題の協議。3月には議会としても合併に向かっ  
ていかざるを得ないという認識の一致をみたところ  
でございますが、6月には利礼三町の議員懇談会での合意事項、  
所謂、利礼三町で合併に向けた取り組みを進めるよう要望書  
が届きました。

また、7月には合併新法に基づいて北海道が合併構想を策定  
し、公表したところでございます。

その組合せも、また「利礼三町」での合併の組合せでござい  
ました。

しかし、私は、これからの地方自治の本旨ともいべき地方  
分権型社会に対応する基礎自治体が具えるべき「**行政能力**」

「**財政能力**」「**自治能力**」の三つの能力を充実強化するため  
に合併するという基本的な考えにたったとき、人口規模が小  
さく、財政基盤が脆弱な利礼三町だけの枠組みでは三つの能  
力の充実強化に大きな不安を持たざるを得ないことから、よ

り人口の多い、また、財政規模の大きい稚内市を含めた枠組みを目指さなくてはならないと考えておりますので、今後更に議会との協議をすすめてまいりますし、利礼三町での意見交換など何らかの取り組みが必要になるかもしれません。

こうした取り組みを通しながら、しかし、最終的には町民皆様との対話を通して具体的な方向を見出したいと考えております。

また、今年の後半は、温泉開発庁内プロジェクトを立ち上げ、電磁波探査とその結果を受けての掘削ポイントの協議。その間に、温泉開発基金への寄附金の授与や基本的な計画の作成など、職員の皆さんにも大変忙しい思いをさせていただきました。そして、難航いたしましたが、ようやく、11月に掘削場所を香深入舟地区に決定し、北海道環境審議会が来年2月に開会されますので、それに間に合わせて、つい先日ですが、今月20日に温泉掘削の申請を行いました。

3月には掘削許可がおりる予定ですので、いよいよ春から待望の温泉掘削にかかるころまでまいりました。

ただ、掘削場所は、用地が狭いので建物は、別の場所に建てなければなりませんので、今後も、協議を続けていくことと  
しています。

以上が、市町村合併また温泉開発の現状でございます。  
ふたつとも、いよいよ来年が正念場になると考えているところ  
でございます。職員みなさんのご理解とご協力をお願い申  
し上げる次第でございます。

いよいよ、明日から十日間の休みになります。

久々の長期間の休みでございますが、今年の仕事始めの際に  
「失敗を恐れない前向きな職員になっていただきたい」とい  
うことを話させていただきました。

また、皆さんの持つておられるものを最大限にだして礼文に  
元気を取り戻していただきたい、また、公務員にとってつら  
い苦しい一年になることも申し上げたと思います。

こうした中で、私は、みなさんが不便な思いをしながらも節  
約、節減してくれたおかげで今年は財政調整基金を取り崩さ  
ずに済む見込みになったことにあらためて心から感謝を申

し上げるところでございます。

みなさんお一人お一人の力が、ふるさと礼文町を変えていくことができたということをご今一度、意識していただきたい。またこれからも、こうした厳しい状態は続いていくことと思っておりますが、皆さん方の苦勞が、町民の幸せにつながっているんだと考え、あらためて行政改革を着実に実行していただきたいとお願いを申し上げるところでございます。

このために明日から大切なご家族ともどもに、ゆっくりとお正月をすごされまして、きたるべき新しい年に向かって、しっかりと鋭気を養っていただきますよう、そして、交通事故には十分気をつけられ、事故をおこさない、事故に遭わないようお願いを申し上げまして、仕事納めのあいさつといたします。

今年一年、大変ありがとうございました。